

## 加古川商工会議所青年部

# 平成 23 年度入会案内

【入 会 資 格】 加古川商工会議所の会員事業所の経営者又はその後継者等で、  
年齢満 25 歳以上 45 歳以下の方。

【入 会 金】 不要

【年 会 費】 24,000 円  
ただし、4 月から 9 月新規加入の場合 24,000 円、  
10 月から 3 月新規加入の場合 12,000 円。

【申込・お問い合わせ】 入会希望者は、加古川商工会議所青年部事務局にて入会をお申し込み下さい。  
役員会の承認を得た後、所定の会費を納めた時に本青年部の会員となります。  
〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 527 番地の 5  
加古川商工会議所青年部事務局  
電話：079-424-3355 ファックス：079-424-7157



### 商工会議所青年部シンボルマーク

YEG ロゴは商工会議所青年部の英語名  
「Young Entrepreneurs Group」の頭文字をとったものです。  
同時に商工会議所青年部の持つコンセプト

|            |               |
|------------|---------------|
| Youth      | 「若さ」          |
| Energy     | 「情熱」          |
| Generalist | 「広い視野を持った経営者」 |

を表しています。

# 加古川商工会議所青年部概要

## 設立目的

加古川商工会議所青年部は、会員相互の親睦と連携を密にし、企業経営者としての研鑽を積み、加古川商工会議所の事業活動への参画又は協力を通じて地区内における商工業の振興を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的とする。

## 事業内容

1. 会員相互の親睦と研鑽のための事業を行うこと。
2. 商工業に関する調査研究及び資料の収集等を行うこと。
3. 商工業の振興及び社会一般の福祉に寄与すること。
4. 商工会議所事業等の推進及び協力。
5. 本青年部としての意見を会頭に上申するとともに、これを必要に応じて関係方面に具申し、又は建議すること。
6. 商工会議所等の諮問に応じて答申すること。
7. 関係諸団体との連携又は協調を図ること。
8. その他、本青年部の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

## 綱領

商工会議所青年部は地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い  
次代への先導者としての責任を自覚し地域の経済的発展の支えとなり  
新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

## 指針

われわれ青年部は

- 一、地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう
- 一、国際社会の一員であるべき国際人として教養を高めよう
- 一、豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
- 一、文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって 歩を進めよう
- 一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の礎となるよう

## 平成 23 年度の主な役員

|                       |        |                     |            |
|-----------------------|--------|---------------------|------------|
| 会長                    | 藤川 英典  | (有)藤川組              | 代表取締役      |
| 直前会長                  | 大辻 嘉衛  | (株)松竹酒舗             | 専務取締役      |
| 監事                    | 玉川 英樹  | (有)タマガワモーターコーポレーション | 代表取締役      |
| 監事                    | 森本 智裕  | スチール工業(株)           | 代表取締役      |
| 副会長・県連副会長・日本 YEG 出向理事 | 花里 佳治  | (株)協伸重機             | 代表取締役      |
| 副会長・20 周年実行委員長        | 山中 秀夫  | (株)稲美乳版             | 統括部長       |
| 専務理事                  | 的野 剛   | メットライフ アリコ          | コンサルタント    |
| 県連会長                  | 内木場 徹  | (有)内木場工務店           | 代表取締役      |
| 県連出向理事                | 高橋 雅之  | (有)陵和冷熱工業           | 代表取締役      |
| 深情厚誼室長                | 石野 和也  | (有)アイ・スチール          | 代表取締役      |
| 復礼知新室長                | 庄崎 信也  | (資)エバネクト            | 代表         |
| 士魂商才室長                | 関 千咲   | (有)倭坊               | 取締役        |
| 桃李成蹊室長                | 永井 敏幸  | ミズノテック(株)           | 部長         |
| 総事執務委員長               | 梅田 幸秀  | 梅田測量事務所             | 代表         |
| IT 広報委員長              | 大北 和己  | (株)アルタリコ            | ゼネラルマネージャー |
| 致知格物委員長               | 田中 義人  | (有)スプリング            | 取締役常務      |
| 商売繁盛委員長               | 中田 賢吾  | サンエム電機(株)           | 専務取締役      |
| 楽市運営本部長               | 佐々木 陽平 | ササキ地所               | 営業         |
| 地域活性委員長               | 船原 慶太  | (株)ハウジング山一          | 専務取締役      |
| 一期一会委員長               | 森本 幸次郎 | (有)森本電気商会           | 取締役        |
| 四海兄弟委員長               | 原田 悟   | (有)協栄工業             | 代表取締役      |

## 平成 23 年度活動方針

守・破・離 ~ Open the door ~

原点回帰、創意工夫、そして次代への扉を開ける!!

「地球を動かしているのは、思想ではなく経済だ。」日本初の株式会社を設立したと言われる坂本龍馬の名言として伝えられています。まさに当時、時代を先駆けた青年経済人でもあった龍馬が世を去ってから 11 年後(西暦 1878 年)、日本初の商工会議所(商法会議所)は設立されました。以来百三十有余年、商工会議所はそれぞれの時代背景の中、それぞれの地域において商工業の振興に力を注ぎ、日本経済の健全な発展に寄与し続けて来られました。我々が所属している商工会議所青年部(YEG)は、商工会議所活動の一翼を担い、商工業の振興と社会一般の福祉の増進に資するという目的を持って設立されました。

日本商工会議所青年部が設立されて 28 年目の今年、我が加古川 YEG は、設立 20 周年を迎えることとなりました。この節目の年に、先人が思い描き道を示した、綱領・指針、さらに YEG としての気概や思いをきっちりを受け継いで実践して来られたかを検証します。またさらに時代に即した工夫や変化を遂げながら、次代への先導者として新しい扉を開いてゆく。これこそが地域経済をリードする若き起業家集団が担うべき役割であると考えます。

昨今、地球温暖化現象や、異常気象とも言われかねない気象災害が目立ち、大企業のみならず中小企業をも巻き込んで環境改善への取り組みが叫ばれ、まさに社会一般の福祉の増進に資する事が望まれる様になりました。さらに、日本国として、諸外国に対する姿勢や立場が問われるような諸問題が浮き彫りになって来ています。そのような社会情勢の中、我々青年部は一青年経済人として、わが街加古川に於いてどのような取り組みを行い、またどのようにして時代の要求に応えていくのかを日々模索・研究するため、常に心と頭のアンテナを張り情報を得、研鑽・実践して参ります。そうすることで、自社事業の発展・地域の人材育成の一助とし、ひいては地域社会の発展に寄与出来ると考えます。

文頭に述べました、かの維新の風雲児の言葉は、日本国が経済ではなく思想と武家社会によって動いていた時代に、まさに時代を牽引すべく発した言葉でありましょう。今日、維新後経済が地球を動かして来たであろう事を当たり前捉えている我々が、今一度原点に立ち返り、故きを温ね新しきを知り、これからの時代に即した最先端の経済人たるべきではないでしょうか。

『守・破・離』とは、元々武道や茶道等、武芸の世界において使われていた言葉であります。師の教えを守り、ただひたすら修練を積んで習得に励む時期“守”。教えを習得し、その教えの中から自ら創意工夫し、応用する時期“破”。そして、それら全てを踏んだ上で、その殻を破り、何にも捉われずに新しいものを生み出す時期“離”。

青年部にとっての“守”とは、先輩諸兄の教えを受け継ぎ、交流と連携をもって豊かな地域経済社会を築くことであると考えます。この 20 周年の節目に、時代に即した工夫や変化を盛り込み“破”とし、扉の向こうにあるまだ見ぬ輝かしき未来の地域社会に貢献する“離”に向かって、商工会議所青年部としてまた地域を支える青年経済人としてさらなる高みへと発展・成長し、次代への扉を開いて参ります。

# 平成 23 年度 各室、各委員会方針・予定事業

## 復礼知新室(ふくれいちしん)

室長名 庄崎 信也

### 担当委員会

総務執務委員会(梅田委員長)・IT 広報委員会(大北委員長)

### 室方針

円滑な人間関係構築の要点として、「礼に始まり礼に終わる」、「親しき仲にも礼儀あり」は欠かすことができないものであることから、総務執務委員会では、会員総会等の儀礼の部分の司る役割を果たします。次に、時代を先駆ける地域の先導者たろうとするために、コミュニケーション力の向上は外すことのできないものとの認識から、IT 広報委員会では、将来を見越した新しい情報技術の先取と提案に努める役割を果たします。以上の役割遂行に万全を期し、実践に当たっての助言や取りまとめと、互いの繋がりを大切にします。

### 室名の由来

論語の顔淵篇に見える「克己復礼」、同じく為政篇に見える「温故知新」からそれぞれ取り、室名として掲げました。克己復礼・・・私情や私欲に打ち勝って、社会の規範や礼儀にかなった行いをする事。温故知新・・・前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を見出し自分のものとする事。

## 総務執務委員会

委員長名 梅田 幸秀

副委員長名 玉野 新之輔

### 委員会基本方針

儀礼は円滑な人間関係を築くために、必要不可欠であります。普段経験することが少ない儀式等から青年経済人としての礼節を学び、教養を高められるよう努めます。また、青年部の土台となり、各委員会と緊密に協力体制を築き、事業等がスムーズに進行されるよう献身してまいります。

### 職務分掌 は例会事業とする

通常総会:4 月例会

臨時総会:1 月例会

卒業式:3 月例会

会員名刺・名簿の作成

役員会の管理・運営

例会の運営(担当委員会との連携)

20 周年記念事業支援

各室・各委員会との連携

会員拡大

## IT 広報委員会委員会

---

委員長名 大北 和己

副委員長名 藤本 静代

### 委員会基本方針

時代を先駆ける地域の先導者となるべく、情報技術の先取に努め、青年部メンバーに発信していく。また 20 周年を迎える青年部の活動や会員企業の PR を外部発信する。日々進化する IT・情報関連について調査・研究し、青年部メンバーのスキルアップに繋がる情報を伝え、使えるツールを企画・提案する。

### 職務分掌

は例会事業とする

担当月例会の企画・運営(10月)

HP の利活用及び、内外への発信についての研究・実践

ビジネスツールの研究・企画・実践

20 周年記念事業支援

各室・各委員会との連携

会員拡大

## 士魂商才室(しこんしょうさい)

室長名 関 千咲

### 担当委員会

致知格物委員会(田中委員長)・商売繁盛委員会(中田委員長)

### 室方針

委員会相互の交流と連携を図り、より良い事業計画を立案し、スムーズな事業運営を目指すことで、切磋琢磨する委員会活動を進めます。また室内においてはメンバーの交流と親睦を深め、活発な議論を行い、これまで育んできた信頼関係をより一層強固にできるよう年間を通じて活動していきます。致知格物委員会では故きを温ね、新しきを知り原点に立ち返ることにより物事の道理や本質を深く追求できる士の魂を培い、商売繁盛委員会では企業間の交流を広げ、経営手法を学ぶことにより商人の知恵を得、自身の成長が自社の発展に繋がる事業を創造し、20 周年を迎える青年部の要となり得る室を目指します。

### 室名の由来

「和魂洋才」からの造語。武士の魂と商人の知恵という意味。

「“利”より“義”を重んずる武士の魂」で「才知ある商売」を行うということ。

## 致知格物委員会

---

委員長名 田中 義人

副委員長名 遠藤 寛規

### 委員会基本方針

故きを温ね新しきを知り、物事の道理や本質を深く追求するような研修の場を提供します。今の時代に即した青年経済人を目指す一方で、利より義を重んずる考えを探求し、商道德の再構築へと繋がります。人として一番大切なものは何なのかを模索することにより、青年部メンバーに強い連帯感を生み出し、強固な絆が得られると考えます。仕事だけでなく、人生にも真剣に取り組めるよう委員会より波及していきます。

## 職務分掌 は例会事業とする

物事の道理や本質を深く追求する研修の企画・運営(6月)

会員研修材料を調査・研究し、会員に発信

20周年記念事業支援

各室・各委員会との連携

会員拡大

## 商売繁盛委員会

---

委員長名 中田 賢吾

副委員長名 金川 和敬

### 委員会基本方針

優れた手法を用いて業績を伸ばしている企業を視察・検証し、会員企業の自社の発展に繋げる事業を企画します。また、加古川ブランド「清流加宝」を”守・破・離”の精神のもと、維持・継続させると共に、新しいものを創造し実現していくように努力していきます。さらに会員企業同士の交流の場を提供し、業種を越えてお互いに商売繁盛に繋がる関係を構築し、地域経済の発展に寄与できるように努めます。

## 職務分掌 は例会事業とする

優良中小企業へのベンチマーク(7月)

ニュービジネスの調査・研究

ビジネス間交流の企画・運営

各室・各委員会との連携

会員拡大

## 桃李成蹊室(とうりせいけい)

室長名 永井 敏幸

### 担当委員会

楽市運営本部(佐々木本部長)・地域活性委員会(船原委員長)

### 室方針

加古川を活気に満ちた町にする為に、地元の商業、工業、農業と市民、行政が一体となる事業を推進します。桃李成蹊のごとく、先人が示した道を逸れることなく、また、これからの時代に即した創意工夫を成し、メンバー全員が起業家精神を高め、自己研鑽を怠らず成長してまいります。そして、地域行政との関わりを含めた交流の輪を広げ、地域振興の礎となる活動に邁進して行きます。

### 室名の由来

桃や李(すもも)は何も言わないが花や実にはかれて人々が集まり、人々が集まる事により自然に道が出来て行く意から、人が集える活気のある室(委員会)を目指し、メンバー全員がお互いを尊重し合いながら交流の輪を広げて行く中で、自分自身が軸になり物事に取り組んで行きたいという思いにより室名としました。

## 楽市運営本部

---

本部長名 佐々木 陽平

副本部長名 井上 拓也

### 委員会基本方針

わが街『加古川』の地元商業、工業、農業、そして行政が一体となる事業を推進します。第九回を迎える、地域商工業の振興に寄与する事業では、今一度原点に立ち返り、企画、準備、そして運営までのプロセスをメンバー全員が一丸となり、積極的に学び、研究し、実施して参ります。メンバー全員が自己研鑽に努め、共に成長し交流の輪を広げ、そして創意工夫をし、地域を支える青年経済人として、さらなる高みへと邁進して参ります。

### 職務分掌 は例会事業とする

担当月例会の企画・運営(9月 加古川楽市)

他地域商工祭りの調査・研究

20周年記念事業支援

各室・各委員会連携

会員拡大

## 地域活性委員会

---

委員長名 船原 慶太

副委員長名 松尾 基宏

### 委員会基本方針

わたしたちのまちをもっと豊かで活気に満ちた郷土に出来るよう、諸先輩の示された原点に立ち戻り、地域活性化事業を実施して参ります。青年経済人として真に欲求する事が何かを考え、本音で意見を出し合える場を提供することにより、自らを向上させ、ひいては地域経済の発展と地域振興の一助にできるよう努めて参ります。これらの活動が20周年の節目の年に加古川 YEG の次代への新たな一歩になるよう、メンバー一丸となり邁進して参ります。

### 職務分掌 は例会事業とする

担当月例会の企画・運営(2月)

加古川交流研究会の原点回帰・発展

20周年記念事業支援

各室・各委員会連携

会員拡大

## 深情厚誼室(しんじょうこうぎ)

室長名 石野 和也

### 担当委員会

一期一会委員会(森本委員長)・四海兄弟委員会(原田委員長)

### 室方針

加古川 YEG 設立 20 周年の節目にあたり、諸先輩の築かれた伝統と教えを受け継ぎ、次代の先導者として、時代に即した青年経済人を育成して参ります。また、メンバー同士が心から親しく付き合い、他団体とも深く厚い交際をし、内外問わず交流と連携の輪

を拡げ、人との出会い・付き合いの大切さ、人として歩むべき道を学び創意工夫することにより、自身・自社の成長、発展を目指します。

## 室名の由来

親しみ、深く厚い交際の情の意から、人との付き合い・繋がりを大切にしたいという思いにより室名としました。

## 一期一会委員会

---

委員長名 森本 幸次郎

副委員長名 池澤 勝也

### 委員会基本方針

設立 20 周年の節目にあたり、今一度原点回帰し、加古川 YEG の存在価値ならびに進むべき道を組織内に伝え、次代へ繋がるメンバー強化を図ります。十分理解しあえる人間関係づくりや、新たなメンバーが一日でも早くとけこめる環境づくりの一役を担い、現役メンバー・新たなメンバーが共に学び・共に成長し、自社企業を発展させ、地域社会に貢献できるよう邁進致します。

### 職務分掌 は例会事業とする

担当月例会の企画・運営(会員拡大例会) 12 月例会(家族例会・忘年会)

若手メンバーの育成、会員の活性補助

20 周年記念事業支援

各室・各委員会との連携

会員拡大

## 四海兄弟委員会

---

委員長名 原田 悟

副委員長名 花房 和政

### 委員会基本方針

メンバー同士はもちろんのこと、県内外の YEG のみならず他団体とも積極的に交流の輪を拡げ、情報交換・研鑽・実践できる場を提供し、自身の成長・商売の発展、そして、地域社会の発展の一助となる活動を目指します。また、他の YEG 事業にも積極的に参加して連携を図り、加古川 YEG の次代への扉を開く原動力となります。

### 職務分掌 は例会事業とする

フリータイム加古川ネットワーク(5 月)

担当月例会の企画・運営 8 月例会(他団体交流例会)

県連・日本出向者支援、加古川開催時設営

各室・各委員会との連携

会員拡大の活動

以上